会 議 録

- 1 開催した会議の名称
令和6年度佐賀県健康プラン推進審議会
- 2 開催日時 令和7年2月6日(木) 19:00～20:30
- 3 開催場所 県庁旧館4階 正庁
- 4 出席者 【委員(18名)】
高橋 宏和(佐賀大学医学部附属病院)、西田 裕一郎(佐賀大学医学部)
横尾 美智代(西九州大学)、貝原 良太(佐賀県医師会)
舩元 康浩(佐賀県歯科医師会)、福島 あさ子(佐賀県薬剤師会)
城 浩子(佐賀県看護協会)、松田 野利子(佐賀県栄養士会)
中野 一久(全国健康保険協会佐賀支部)
古賀 英敏(佐賀県国民健康保険団体連合会)
田中 英樹(健康保険組合連合会佐賀連合会)
林田 典子(佐賀県保険者協議会)、山下 雅子(佐賀県商工会連合会)、
江里口 秀次(佐賀県市長会)、松田 一也(佐賀県町村会)
鷺崎 政子(佐賀労働局)、山岡 弘美(佐賀県CSO推進機構)、
堤 祐美(県民公募委員) 〈順不同・敬称略〉

【県関係課(17名)】

スポーツ課、くらしの安全安心課、医務課、国民健康保険課、長寿社会課、
男女参画・女性の活躍推進課、こども家庭課、産業人材課、農業経営課、
保健体育課、保健福祉事務所(佐賀中部、鳥栖、唐津、伊万里、杵藤)

【事務局(11名)】

健康福祉部 野田医療統括監
健康福祉政策課 内田課長 他9名

傍聴者数 0名

5 議題

- (1) 第3次佐賀県健康プランの推進について
- (2) 第3次佐賀県歯科保健計画の推進について
- (3) 地域・職域連携推進事業及び地域と職域の連携の実際について
- (4) 各団体の取組状況について

6 会議録

会長・副会長選出

会 長：高橋委員（佐賀大学医学部附属病院）

副会長：福島委員（佐賀県薬剤師会）

議事 議事進行（会長）高橋委員（発言 ○：委員 ●：事務局）

- (1) 第3次佐賀県健康プランの推進について（資料1-1、1-2）

【事務局説明】

- ・第3次佐賀県健康プランの概要
- ・第3次佐賀県健康プランの推進に向けて
- ・第3次佐賀県健康プランに関する取組状況
- ・さが健康維新県民運動の取組状況

【意見】

- 現在取り組まれている「ベジスタ」について、国の健康日本21は5年毎に見直されている日本人の食事摂取基準に基づいて作成されている。野菜を最初に食べることに関する知見については、日本人の食事摂取基準2020年版には掲載され推奨されていたが、今回策定された2025年版にはこれらの記述は削除されている。それを佐賀県が継続して進めていくのか検討すべきと思う。
- すでに県民運動のテーマの一つとして取り上げてあるため、今後、検討していきたい。
- ライフコースアプローチに関して新たに女性に関する目標を設定されているが、その目標を達成するための具体的な取組はどのようなものか。
- 女性が抱える健康課題はさまざまであるが、若い女性のやせ、骨粗鬆症検診の受診率、妊婦の飲酒・喫煙について目標を設定している。それに合わせた啓発、若い女性のやせに関しては食生活の改善も中心になってくるかと思うが、学校や団体等の連携しながら、進めていきたいと考えている。

- 多方面から様々な取り組みをしていただいている、若しくはこれから取り組まれるとのことで頼もしい限りである。取組の効果・評価があるべきではないかと思うが、本審議会では、数値目標に関して客観的な評価するような機能・役割をすることではないのか。
- 指標については、毎年モニタリングできるものについては把握をしており、審議会の中でも報告をしていきたい。
 ただ、毎年把握ができない指標もあるため、中間評価を行い、国や他都道府県のデータ等比較ができるようなものも合わせて把握をし、佐賀県として全国的にどのあたりの位置にいるのかと言ったところも把握をしていきたい。
 市町については健康格差など関係あると思うが、こちらについてもすべてが同じような指標があるとは限らないので、今後、どのような項目を比較していけばいいのかも含めて、皆様方のご意見を伺いながら検討していきたい。
- 現段階で、健康に関する全体評価を行う際に使う指標は、何を参考にされているのか。現実に佐賀県は今どの辺の位置にあるのか。
- 総じて言えるものであれば、国が3年毎に把握されている健康寿命がある。また、健康寿命だけではなく、平均寿命と健康寿命の差を縮めていく方向で進めていくこととしている。これらを把握しながら佐賀県の位置づけについても把握しており、現時点、全国の中では中ほどに位置している。
- 健康寿命と平均寿命の各数値及びその差を県全体の健康度合いとして考えているという理解でよろしいか。
- ご理解のとおり。それ以外でも国の健康日本 21 の指標を参考に他の都道府県も共通して設定しているため、比較等できるのではないかと考えている。
- 後期高齢者医療広域連合の会議の中で、後期高齢者医療保険の給付額が全国4位という報告があった。結構、佐賀県はお金を使っていることが印象に残っており、健康は何を基に数値化し判断していけばよいか、また何を目標に考えていかなければならないかお尋ねしたかった。
- 資料のP9の第3次佐賀県健康プランに関する取組状況「休養・睡眠」で健康福祉政策課では、「健康づくりのための睡眠ガイド2023」の普及啓発を取り組まれているが、同じ時期に運動の方も、新しいガイド「アクティブガイド健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023（以下、「アクティブガイド2023」と表記。）」が出ており、こども版、高齢者版、成人版も作成されている。

エビデンスに基づいた資料があり、是非、活用して積極的に県民の人たちが運動できるように応援していただきたい。

- 睡眠についても、運動についても様々な機会を通じて啓発をしたいと考えている。身体活動・運動については、特に佐賀県では「歩く」ことに視点を置き取り組んでいるので、「アクティブガイド2023」も活用しながら取り組んでいきたい。
- 「歩こう。佐賀県。」応援店に対して何ら補助がない事と、年に1回程度は継続の意思を確認するアンケートを取ってもよいと思う。SAGATOCOに関してテレビや新聞等に広告を出す費用があるのなら、応援店に対しても、何らかの補助があっただけで済ませたいと思う。これまで未だに補助が全くなく継続されているのかお尋ねしたい。
- 「歩こう。佐賀県。」応援店については、あくまでも店舗などの協力のできる範囲の中で協力いただけるような仕組みで進めている。補助については難しい状況である。
アンケートについては、毎年その状況について委託業者の方から行っている。
- 歯科医師会の会員ではアンケートとか一切来てないと聞く。
SAGATOCOのアプリを提示され、「歯ブラシもらえますか？」と言われる方も多し。そのため、委託業者の方にもしっかりとアンケートをとっていただき、それなりの補助があっただけで済ませたいと思う。
- アンケートについては、委託業者の方に今一度確認をして、確実に皆様のお声を引き出せるよう依頼をする。補助については、この場での回答は難しい。
- 健康プランの推進について全てに網羅した取組をされていると思う。実は、各地域でプランに則ったような内容を取り組まれている団体がある。それが食生活改善推進協議会である。団体が活動されている内容をどれだけ網羅されているか資料を見ていたが、資料P12 ページの中に記載されている内容に留まっているようである。当然、県も各市町も連携をしていくので、団体が取り組まれている内容やこれからやろうとされている内容について記載されてはどうか。
- 様々な団体が取り組んでいただいております、また、食生活改善推進協議会の皆様には多大なご協力をいただいているところである。取組内容を今後資料の中に組み込んでいきたい。
- 掲載いただくと、また皆さん方もやる気が出て、そして市民・町民・県民にも認知されることによって、活動がまた広がってくるかと思う。

- 佐賀県としては、身体活動・運動は「歩く」ことを重点に取り組み、確かに SAGATOCO は随分浸透したと思う。厚生労働省から「アクティブガイド2023」のこども版、成人版、高齢者版が出ており、アクティブガイドでは「歩く」以外に、「運動」や「筋トレ」を推奨している。難しいことをいうよりも一番大事なことは、座りっぱなしを避けようというところである。「座る時間を10分減らして、その分運動しよう。」というわかりやすい呼びかけで、もう少し運動する事を啓発されている。

栄養についても、やはりベジスタ、ベジファーストっていうのが非常に浸透しており、高齢者の方もベジファーストと言われる方もいる。フレイル、ロコモ、サルコペニアが進行すると、そのような方に関して言えば（腎機能に問題がなければ）、どちらかといえばたんぱく質ファーストで食べてくださいと伝えている。そのような事も加味しながら、少し啓発の仕方を変えていく方がよいと思う。

- 確かに「歩く」だけではなく、座りっぱなしについての課題や、栄養についても、今、野菜の取組を中心に行っているため、特にフレイル予防でたんぱく質の摂取に関してはこちらも認識している。今後、高齢者の低栄養予防も踏まえながら、様々な取組に努めていきたい。

- 第3次佐賀県健康プランに「健康に関心が薄い者を含む幅広い世代へのアプローチ」が記載されているが、資料P6に掲載されている本取組は効果的と思われる。公民館で健康運動教室等実施しても、ある程度健康に関心がある人しか参加せず、本当に健康教育を届けたい人はなかなか出てこられない。しかし、そのような方も買い物には出かけられる。佐賀駅前交流広場はとても雰囲気がよく、楽しそうなイベントを開催すると、県民への健康教育は効果的だと思われる。

- 今後の事業の参考としたい。

(2) 第3次佐賀県歯科保健計画の推進について（資料2）

【事務局説明】

- ・佐賀県歯科保健計画の概要
- ・佐賀県口腔保健支援センターの活動

【意見】

- フッ化物洗口に関しては町でも推奨しているが、水道水に混じる有機フッ素化合物の話が結構出てきており、混乱される傾向が出てくると非常に困ってしまう。水道水で問題になっている有機フッ素化合物とフッ化物洗口に使用される無機質は全く異なる物であることを口頭で説明するのは難しいため、優しく解説するものを示していただけるありがたい。
- 有機フッ素化合物とフッ化物洗口に使用される無機質を混在して誤った認識を植え付けないように、ご指摘の通り、啓発していきたいと考えている。
- 啓発というよりも、解説したものを歯科医師会や口腔保健支援センター等のホームページに掲載していただくとありがたい。掲載していただくと町のホームページにリンクを貼ることもできる。
- 対応する。
- 資料5ページの障害者入所施設での一年間の健診実施率が約8割だが、どのような障害者の入所施設を指しているか。具体的に言えば、作業所ではほとんど歯科健診をされていないと思う。
妊婦歯科健診を実施していない市町は現在おそらくないと思う。なぜなら、子ども家庭庁は地方交付税交付金で妊婦歯科健診も実施するよう国が予算付けされている。市町が実施されていない場合は、歯科医師会からも働きかけするよう依頼されているので、実施していない市町を教えてください。
- 乳幼児期におけるフッ化物塗布の事業実施市町の割合が7割だが、こちらも補助金が出ている。実施されていない市町を示していただければ、会員からも働きかけができるので教えてください。
- 妊婦健診に関しては、令和5年度時点では19市町で行っている。
- 実施されていない市町はどちらか。
- 改めてお伝えする。この場では回答をお控えさせていただく。
乳幼児期におけるフッ化物塗布の事業実施市町の割合は、100%を目指しており、県歯科医師会の方に説明できる機会を作りたいと思う。
作業所は確かに現在実施されていない状況である。県歯科医師会とも協議しているが、健診については見直しの時期に来ていると考えている。

作業所での健診は集団健診ではなく、ガイドブックも活用し個別健診へ移行していきたいと考えている。

- 資料 5 ページに記載されている入所施設は作業所を指しているのか。
- 作業所ではなく、入所されている施設に対して調査を行い、健診実施率が約 8 割という結果である。

- 資料 6 ページの大規模災害時の歯科口腔保健について、大規模災害をどのように想定されているのか。佐賀県内で起きる大規模災害とともに、これからは全国で起きうる南海トラフ等々も考えた対策を念頭に入れて平時から備えておく必要があると思う。
- 参考にしたい。

(3) 地域・職域連携推進事業及び地域と職域の連携の実際について

①地域・職域連携推進事業について（資料 3-1）

【事務局説明】

- ・健康企業宣言事業所・優良企業認定事業所
- ・働き盛り世代への効果的な情報提供に関する検討会
- ・佐賀さいこう表彰（健康経営部門）
- ・地域・職域連携事業の取組（会議・出前講座）

【全国健康保険協会佐賀支部説明】

- ・健康企業宣言事業（がばい健康企業宣言）について

②地域と職域の連携の実際について

【保険者協議会説明】（資料 3-2）

- ・佐賀県保険者協議会の状況、構成
- ・佐賀県保険者協議会の取組
データヘルス計画、健診受診促進、
佐賀県糖尿病・人工透析予防対策研究事業

【佐賀労働局説明】（資料 3-3）

- ・第 14 次労働災害防止計画
- ・コラボヘルス取組啓発
- ・エイジフレンドリーガイドライン

【意見】

- 資料 14 ページの事故の型別について、口腔外傷の方の割合について教えていただきたい。

- 転んだ結果、口の中の怪我をされ、お口のケアをする必要性があり労災請求された件数ということか。
- 具体的な症例で言うと、同僚が鉄筋を運んでいて方向転換した際に、その鉄筋が自分の歯に当たり歯が折れたとか、そのような労災レベルでの口腔外傷の割合が分かるのか。
- グラフは事故の型別での集計結果であり、厳密に言えばお尋ねの内容での統計を取ったものではない。例えば、転んで歯が折れたとか治療の必要性があれば、資料の中に含まれている可能性はある。
- 労働災害を申請されるので、調べようと思えば分かるということか。
- 内容を精査すれば分かるが、ただ、その事故の型別でしか現状統計を取っていないため、それをどこまで遡ってその統計を取るかどうかも踏まえて、今後、提案いただいたことを所属に持ち帰り回答したい。

(4) 各団体の取組状況について（資料4）

【資料4参照】

【意見】 特になし。

以上。